

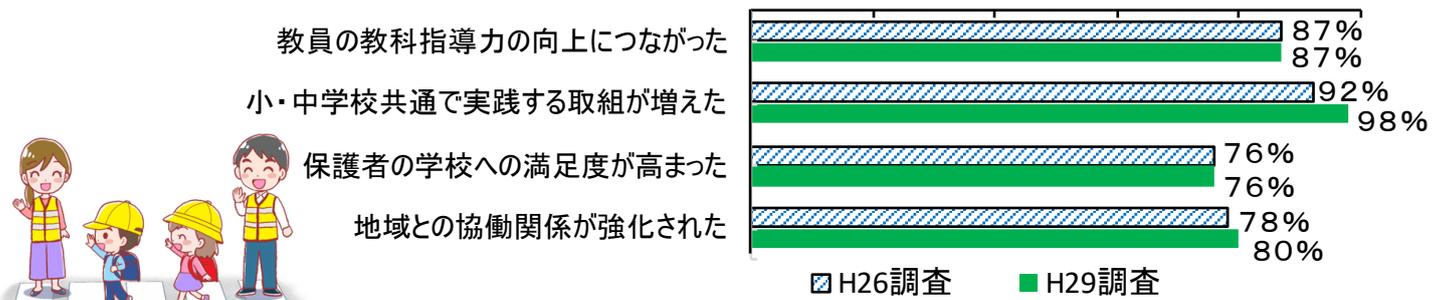


小中一貫教育の成果と課題は？その2

前回に続いて、これまで小中一貫教育に取り組んでいる全国の市区町村を対象に成果と課題等を調べた文部科学省調査の概要を紹介します。

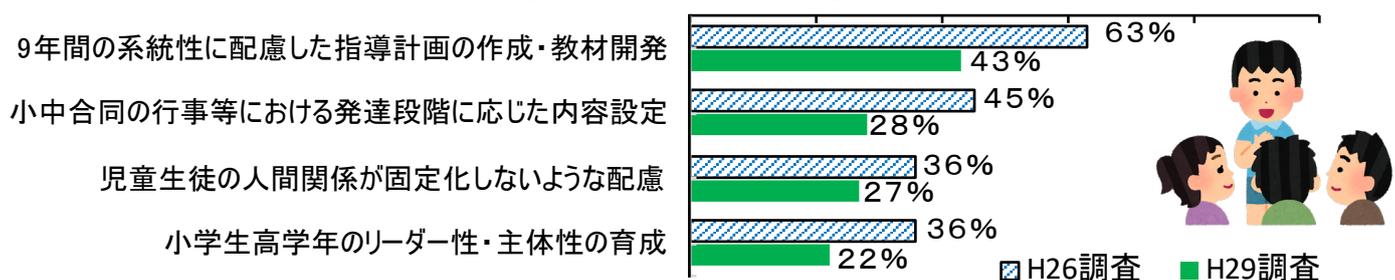
教職員連携・学校運営面の成果

「大きな成果が認められる」「成果が認められる」と回答した市区町村の割合



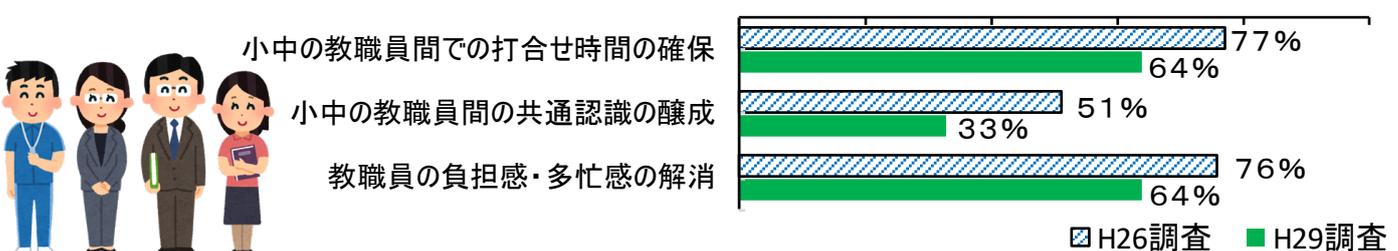
学習指導・生徒指導の課題

「大きな課題が認められる」「課題が認められる」と回答した市区町村の割合



教職員の負担等の課題

「大きな課題が認められる」「課題が認められる」と回答した市区町村の割合



小中一貫教育の課題としては、これまでになかった9年間の連続した指導計画や教材開発、行事の内容を考えていく必要があげられています。また、9年間の学校生活での児童生徒の人間関係の固定化や小学校高学年のリーダー性・主体性の育成を課題にあげた市区町村が約3割ありました。新たな教育体制を始めることから、教職員の負担感・多忙感の解消が約7割と教職員の課題が多く回答されています。

ただ、どの課題も、3年後の調査では課題であるとの回答が減少しているため、実践を重ねる中で解決の道筋も明らかになっていくことが考えられます。

★ご質問・ご意見は、東伊豆町ホームページの【お問い合わせ】か
東伊豆町教育委員会【電話】0557-95-6207 【〒】413-0411 東伊豆町稲取3354
【メール】kyouiku@town.higashiizu.lg.jp お願いします。